

松本
山岳会

S.50

報告書

新人合宿

6-1~6-8

横尾B.C. 純高周辺

SAC会員33名 + O.B.1名

滝谷 四尾根 クラック尾根 三尾根~中央稜

奥又 四峰正面松高

屏風 東稜

雪上訓練 酒沢 白出のコル 北穂

徳本峠

七目下山 コニハ 日本酒 トリキン ジョニ黒

新人数名

カニコウモリ ニリンソウ アザミ スカンホ

雲に嘯く 春寂寥 淳子 百恵 陽水 港の横

酒沢 横尾 梓川 流れ流れて日本海

は甘くて切なくて

大キジ 小キジ 今日モ元気だ 快調快便

信州大学

山岳会

○新人合宿を終えて○

①.山。吉田秀樹

天気に恵まれたとは云い難いが、新人・2年目以上とも、充分行動できたと思う。その中で各人考えた事、云われた事は、これからの山行でいかにいってもしえは「よいと思う。

さて、新人合宿をSACでやる事に、もう誰も異論はないと思う。それが、その問題点を考え~~た~~た上での事なS、問題ない。今合宿に於いても、その問題点が表面化してしまった。そこで、新人合宿は単なる祭りだけでよいと聞きなあってほしく有り。それなS、各部隊々にやったほうが有意義である。一つにやる以上、計画から反省まで通して、それSの負担を各人各部 覚悟してほしいと思った。

計画 >。取り組みも早く出来た。今年の合宿では、1年目の指導
+ 2年目以上のバリエーション及び雪上訓練に力点があがれた。

準備 >。装備の各部門の連絡不足、ターフが入山しないという事、責任の所在があいまいにされたのではないが。

- 計画書が交通ストの影響もあり、遅れてしまった。
- 会計・渉外はよくやってくれた。
- ここ2~3年、各部とも同じ係を引き受けている事もあり、早い時間ですんだ。

入山 >。全体的に下の部員への注意が不足気味であった。

- 訓練中は上級生も同じである事。
- 2年生以上でのコンテ・スタカットetcの時間的バラツキが出来てしまった。
- 1年目の雪上訓練に、もう少し Peak Hunting を入れる余地があった。
- 2年目以上のバリエーションは、それなりに各自で生かして欲しい。
- バリエーションは朝から行った方がよかった。
- 雪の状態が訓練に適さず、そういう意味での不安は残った。

下山 > 。あとがけが非常にいいかげんであった。
。各係の反省も、最後までしっかりやられていない。

新人に関して > 。雪上技術・時間的に充分できた。
。一応の事は教える事が出来たが
雪の状態の点が不安。

。生活技術・教えた事はやっているが、意欲に欠けた。
。新人でもあり、2年目以上の指適の不足が原因ともみれる。
その他、1週間の生活は山登りというものを知らせてもらったと思う。

2年目 > 。新人に対して直接指導する立場にあるという意識
に欠けた。自信のなさには指導できないということでは
ない。

個人的に時間差があったが、雪上訓練は充分できた。

3年目・4年目 > 。合宿をスムーズに進める上でのリーダーシップ(生活面・技術面)に欠けた。これは致命的な
問題点である。

5年目以上 > 。個人的理由を取り除いて参加するのが当然である。
又、参加する以上、合宿をこらえるような勝手
な行動は慎んでもらわなければならぬ。

以上。

空白

○期間 S50 6月日～6月8日

○場所 横尾谷B.C. 穂高周辺

○参加

4年部員 吉田秀樹 (C.L-L-4) 古川道裕 (SL-T-3)

福島 渉 (SL-A-4)

3年部員 宅和正彦 (Essen C-T-3) 川瀬享 (Essen-T-3)

須貝与志明 (記録C-医療C-A-3)

古橋孝夫 (気象C-A-3)

2年部員 師田信人 (装備-M-2) 二保勇司 (装-L-1)

土田章 (装-F-2) 山本章 (装-Essen-E-1)

福井修 (Essen-T-2) 岡本真一 (会計涉外-A-1)

井上雅子 (記録A-A-2) 村田卓穂 (記-A-2)

左山幹夫 (医療-S-3)

*藤元治郎 (会計涉外C-気象-M-3) (途中下山・再入山)

1年部員 石沢一吉 (S-1) 梶巻重幸 (L-1)

片山博彦 (A-1) 清川雅夫 (S-1)

小松幹直 (T-1) 下田章 (A-1)

瀬戸由則 (T-1) 中嶋岳志 (E-1)

細野典明 (A-1) 丸山宇一 (E-4)

古顔部員 秋田敬典 (E-4-VI) *中田茂 (L-4-VI) or 3

*臼井武 (L-4-VI) 西川義浩 (T-4-V)

*小川邦一 (T-4-IV) *古塚直一 (F-4-IV)

O.B. 加賀瀬豊彦 (T) *→途中参加

— 氏名 (係-学部-学年-部歴) C→4-7

T→工学部 A→農 L→人文 E→教育 M→医 S→理 F→織

行動記録○

- 1日 ① → ②
B. 5:20 松本都立出 — 5:50 島々宿着 — 6:00~6:30 各
② ③ パーティーに引れて出発 — 2:00 徳本峠着 (1巻早いパーティー)
— 4:00頃 白沢出合のテニバ 設営

雨に降られた。嫌な初日であった。1年でバテた者が
が残りいた。中には「頼むたいから、お顔をほってく
れ。」などと言いだす奴もあらわれ、うづな2年を
大いにあわてさせた。

2日 ① → ②

- ① 6:45 出発 — 9:35 横尾着 設営 — 11:30~2:30
② オルンセで雪上訓練 (2年以上)

出発時になぜか団装があまり。(有人と育英会テントetc)
運の悪い者は、出発前かS ドックとつがれた。昨日で
うって変わった上天気。天気につられて元気になった1年に対
して、パルクでスポウをした 媒2年生は荷くづれが
バテそうになり、あせる。

3日 ① → ② → ③

- ① 3:15 キョー — 4:00 B.C. 出発 — 5:50⁵⁰ 酒沢着 — 11:00
② 酒沢出 — 12:00 B.C. — 12:30~2:30 オルンセ^{雪上訓練}

10:40 雨のため、酒沢ビュテに退避。B.C.に帰る。
その後、天気が回復したので、オルンセで雪上訓練。
訓練中、ルンセ上部に落石があったが、被害はな
かった。

4日 ① → ②

- ① 4:25 B.C. 出発 — 6:00 酒沢着 雪上訓練 — 10:50 出発
② — 12:50 白出のゴル着 — 13:15 出 — 14:45 B.C. 帰着

白出のゴルへは、ザイティングラート上に行く。ゴルでSIMACの
冬山で残置したテポを回収。食べ放題。下りは、フリ
セド・シセドを短く区切って降る。

登ハンパーティー (①②③、滝谷 ④屏風)

① 四尾根パーティー (山宅知・左山)

淵沢 (9:30) - 北ホ (11:30 ~ 12:00) - スノコル
(12:20) - 四尾根 (12:30 ~ 16:00) - 北ホ (17:00
~ 17:30) - B.C. (19:00)

北ホまで、①②③パーティーは みんな一諾。帰りは

②パーティーと一諾。9:30まで、コンテスタカートの練習
ツルムの頭で 時間待ち。30分。

② クラック尾根パーティー (山福島・山本)

③パーティー (中央綾 登ハン中) に声をかけて、①

パーティーと 先に下る。淵沢ヒュッテ手前のヒュッテ

で、2年生 Y が足をねんざ。①パーティーに先

に下ってもさうい。ゆっくり帰る。原因は、調子にの

って、快調にグセードで下っていたアホの

Y が前方の岩に気づき、後断続に注意しよう

と止った時に、後 Y の後がさついたらきた雪雲に、

Y はおとばされたため。以後 Y は不能 (登ハン

不能。夏まで) になる。

③ 三尾根 ~ ドーム中央綾 (山古川 師田)

三尾根 (13:00 ~ 15:10) - 中央綾 (15:45 ~ 18:30)
- B.C. (21:15)

三尾根のガリーは落石の通り道にあって、状態はよくなかった。いろいろ不午際が多く、つわり
時間を使い果してしまつた。もう2時間は短縮
できると思う。

④ 屏風岩 下部岩壁 ~ 東綾 (山面川 須貝)

B.C. (4:10) - 東壁ルンデ下部 (5:15 ~ 7:15 4P)
- 東綾 (7:55 ~ 11:25 5P) - ビョウブの頭 (1:30)
- B.C. (2:30)

5日 ●●●..... 沈殿 沈殿 沈殿..... ア〜ア!

予定は。涸沢雪上訓練〜北木往復

・奥木東南稜・前木北尾根・奥又4峰松高ルート
でした。

6日 ①〜④

・4:00 B.C. 出発 - 5:50 涸沢 雪上訓練 - 9:30 出 - 11:25

北木着 - 12:45 涸沢 - 14:10 B.C.

・登ハニ パーティー (①② 奥又 ③④ 滝谷)

① 松高パーティー (L古川・土田) ② 松高パーティー (L古橋
二保)

涸沢(6:00) - 5.6のゴル(6:50~7:05) - 4.5のゴル(7:25
~7:45) - 松高ルート(9:00~12:00) - 3.4のゴル(1:00~
1:25) - 涸沢(1:40) - B.C.

①パーティーと②パーティーは、ずっと一語、仲よく4人
で登りました。

夏の取り付きのテラスは雪の下。1ピッチ目の途中がSア
ンダレシ。松高ハニゲの下は、水滴がホッポ、ホッポ。
松高テラスの上のフェースでは Top になった2年生が
9回も attack したり(2年生甲)、つりあげ気味でヒュー
言いながら登って、今もヒラヒラにしたり(2年生乙)
とにかく、楽しく登りました。

③ 三尾根〜中央稜 パーティー (L吉田・福井)

涸沢(6:10) - 北木(7:40~7:55) - 三尾根(8:30~
9:10) - 中央稜(9:20~10:30) - 北木(11:15)

三尾根 1P 20M コンテ 120M 2P 30M ~~face 100M~~
face 100M - II

中央稜 4P + コンテ 40M 94 = 40M TV face 100M 40M TV
face 100M 30M III face 100M IV

登ハニ後 本隊に合流

④ クラック尾根パーティー (L川瀬・岡本)

北木小屋(7:50~8:10) - クラック尾根(9:35~12:55)

—北木—洞沢—B.C.

夕暮と帰りに北木小屋でお茶をごろそうになる。(二度を!!)

洞沢は氷結していました。

7日 ㊦ - ㊦ - ㊦ - - - 半沈

定は。槐往復(橋沢)

。前木北尾根・展図岩東麓 でした。

6:30 キョー — 8:00 お墓まいり

夕暮は、テンプラの材料さがし。

夜は盛大(?)なコンパ。登山論争もでて、にぎやかでした。

トナーが刺に刺めるとは失敗。相手が吉田さん+親衛

さんでは。

年始、酔っぱらった1年に悩まされました。

8日

6:00 キョー — B.C 飯取 — 7:45 出発 — 10:35 上高地着 — ^{11:00 出}

13:05 松本駅室。

某月某日 ㊦

報告書作製

終

※9ページよりつづく

○ 装備係

— 師田 —

憎れない2年目ばかりでやったので、B.C.に入ってから、借し出し、返却がスムーズにいかず、いろいろ迷惑をかけたと思うが、致命的なミスだけはのりかたで済ましています。

Metaが足りなくなり、終わりのほうでは個装のMetaを使っていたりしたのは、全く装備の方の怠慢でした。

それから、装備袋の中は、いつも整理されているよう、みんなで気を付けよう。

(編集部)

(注) 今週の豊田さんは都合により入山されませんでした。↓)

○ その他の係(会計 渉外 医療 記録)は係の怠慢で掲載できませんでした。申し訳ありません。 編集部

○ 各係反省 ○

○ 気象係

—古橋—

気象係としては、私自身それほど詳しい者ではありませんが、主体的なものであるとして天気象について新人を見ていました。天気図については、やはり下界で入山前までに、何回となく書いていた者と、ズクなしの者との差がはっきり現われていたように思いました。このへんの問題は各人に考えてもらってズク出して書いてもらうしかないでしょう。まあ一人一人とかが、図に表わすぐらいまでは出来ているようでした。気候・天候その他の読図についても、まだ知識は不足しているようでした。もう一度、新人には考えながら、天気図の本を新人で読んでほしいものです。

一年のことはかりになりましたが、私自身ズクなしであつたようです。2年目の人にもなりオンブして、新人に対して詳しい指導という点まで行けなかったのは、私の知識不足に原因しているようです。上級生も気象の知識を確実なものに……。

○ Essenⁿ係

—宅知—

過去数年の新人合宿の報告書を見ると、毎年前年の Essen 計画と同じで新しい試みができなかったと反省されている。しかし、この事は、人数が 30~40 名である点、行動時間が朝早い点、Essen 費をそれほど多くつぐえられない点、そして、しがたりのない事です。

したがって、合宿中に Essen 作り人が、この限られた材料を使って、いかにおいしく食べられるように調理作りかという事しかないと思います。

Essen の分量については、朝・夕食ではあれ位だと思いはす。昼食に関しては、SNAC や SIMAC と AX というのはさみすぎたと反省しています。

最後に、合宿中、酒・Essen をつまみ食いだ者がいますが、これは許されない事です。各自、合宿とは何をするのかを、考えて深く反省して下さい。

○ 装備係

— 針田 —

慣れない2年目はガリアやったので、B.C.に入ってからSも借出し、返却がスムーズにいかず、いろいろ迷惑をかけたと思うが、致命的なミスだけはのがれて、ほっとしている。

Metaが足りなくなり、終わりのほうでは個装のMetaを使ってもSったりしたのは、全く装備りちの怠慢でした。

それがS. 装備天の中はいつも整理されていきます。みんなで気をつけよう。

© Printed in Japan

編者との
契約により
検印廃止

S50 新人合宿報告書 非売品

S50 11/5 初版発行

編者 新人合宿記録係の下請け
印刷 信州大学思誠寮 第一印刷所
製本 信州大学山岳会 松本部室
発行 信州大学山岳会 新人合宿実行委員会
記録係下請け 新人合宿報告書
記録収集編集ガリカ印刷製本実
行同志会 イキスポーツ製作チーム
「阿呆」 ----- 今カレバ
Tel 0263-(35)-3962 思誠寮